

県連だより

OITA CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

No. 105

March 2021

大分県生活協同組合連合会

〒870-0278 大分市青崎1-9-35

TEL 097-527-4056 FAX 097-527-4084

おおいたの生協



令和2年7月豪雨災害ボランティア



令和2年7月豪雨義援金贈呈



協同組合協議会の会員とゴミ拾い



第26回生協大会(1)



第26回生協大会(2)



第31回ボウリング大会

CONTENTS

大分県協同組合協議会 地域貢献活動(海水浴場の清掃活動)を実施……………	2
第26回 大分県生協大会を開催……………	3~4
令和2年7月 豪雨災害支援義援金を大分県へ贈呈……………	4
大分県生協連 第31回スポーツ交流会(ボウリング大会)……………	5
大分県生協連合会 県生協連と県行政との懇談会……………	6

OITA CO-OP TOPICS

生活協同組合コープおおいた……………	7
日田市民生活協同組合……………	8
グリーンコープ生活協同組合おおいた……………	9
大分県学校生活協同組合……………	10
大分大学生生活協同組合……………	11
大分県職員消費生活協同組合……………	12
大分県労働者総合生活協同組合……………	13
大分県勤労者医療生活協同組合……………	14
大分県医療生活協同組合……………	15
大分県福祉生活協同組合……………	16

地域貢献活動(海水浴場の清掃活動)を実施



大分県協同組合協議会は、大分県生協連合会を含む県内10の協同組合で結成し様々な取り組みをしていますが、協同組合の活動の場である地域社会において協働することの大切さを伝え、地域に必要とされる取り組みを行うとともに、国連が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」の1つである「海の豊かさを守る」取り組みに寄与するため、毎年、地域貢献活動として海岸の清掃活動を実施しています。

令和2年度は10月16日(金)に大分市「神崎海水浴場」の清掃活動を実施し、県内9の協同組合より20名が参加しました。

大分県生協連合会	2名	JA大分信連	2名
大分県漁業協同組合	2名	JA全農おおいた	2名
大分県酪農業協同組合	2名	JA共済連大分	2名
大分県椎茸農業協同組合	—	JA大分厚生連	2名
大分県森林組合連合会	2名	JA大分中央会	6名

J A大分中央会農政組織部の麻生部長の開会挨拶、NPO法人福祉コミュニティKOUZAKI代表より清掃活動に対する御礼挨拶、事務局より取り組み内容・注意事項等の説明の後、海水浴場に打ち上げられたプラスチックごみやペットボトル・缶・ビン類の清掃を行いました。



第26回 大分県生協大会を開催

生協運動の発展と会員相互の交流を深めるため、第26回大分県生協大会を2020年10月22日に大分市「ソレイユ」で開催し、12会員生協より61名が参加しました。

はじめに、主催者を代表して青木博範会長理事より「令和2年7月豪雨の被害に対し、各会員生協は様々な救援物資を届けたり、多くのボランティア職員を派遣してきました。今回の生協大会は、今後の災害支援に生協がいかにその役割を果たしていくのか、期待に応えていくかを考える機会にしたい」とあいさつ、来賓として大分県生活環境部消費生活・男女共同参画プラザの佐藤誠一郎所長、大分県労働者福祉協議会の滝口元二郎専務理事より、県生協連の様々な活動に対する御礼と今後の活動への協力依頼のあいさつの後、講演に入りました。



【講演Ⅰ】

～コープSDGs 行動宣言「住み続けられるまちづくりを」めざして～
「別府市におけるインクルーシブ防災“誰ひとり取り残さない防災”から学ぶ」

講師 村野 淳子氏（別府市共創戦略室防災危機管理課）

村野氏は、2003年より全国の被災地で支援活動に参加し、福祉フォーラム in 別府速見実行委員会に参画、「障がい者の防災を考える」活動を開始、別府市の「ともに生きる条例」制定に準備段階から委員として参画、東日本大震災では避難所運営の改善にも寄与、2018年度総務省消防庁防災まちづくり大賞（日本防火・防災協会賞）を受賞、又、全国に先駆けて別府市が障がい者や高齢者の避難方法を事前に決める個別計画を作成したことは、大きく評価されました。講演では、これらの取り組みの内容をDVDで上映しながら詳しく説明を受けました。

【講演Ⅱ】

「7月豪雨災害等の支援活動から学ぶ防災について」

講師 松永 鎌矢氏（NPO 法人リエラ代表）

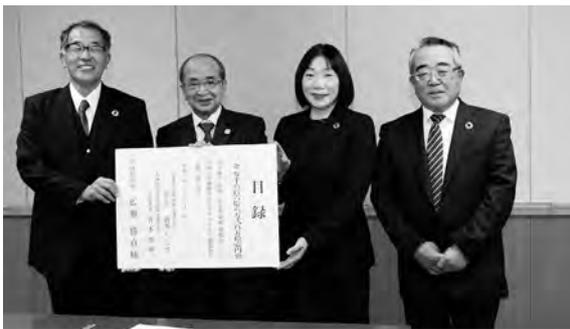
松永氏は、大分大学在学中に東日本大震災の災害ボランティアに参加、卒業後に他県のNPO法人で全国の災害に対応、2017年の九州北部豪雨災害後に日田市に移住しNPO 法人リエラを立ち上げ、防災士、防災介助士、大分県防災アドバイザー、防火・防災管理者として活躍し、2018年大分県防災功労者表彰を受賞しています。

講演では、プロジェクターを使い7月の豪雨における日田市内各地の被害状況や、コロナ感染症対策を踏まえた避難所内のレイアウト、救援物資、飲食店等と炊き出し調整等の避難所運営支援の状況、ボランティアセンター運営支援の状況等を写真にて説明するとともに、コロナ禍での苦労や豪雨への備え等の講演を受けました。



令和2年7月 豪雨災害支援義援金を大分県へ贈呈

日本生活協同組合連合会及び全国の生協の仲間は、7月豪雨災害支援募金を集め、災害救助法適用の9県へ義援金を送ることを決め、12月22日、日本生活協同組合連合会新井ちとせ副会長と大分県生活協同組合連合会青木博範会長理事が、広瀬勝貞大分県知事に36,660,251円の目録を贈呈しました。全国の生協の仲間から心から御礼申し上げます。



大分県生協連 第31回スポーツ交流会（ボウリング大会）

会員生協間の交流を深めることを目的にスポーツ交流会を毎年開催しています。2017年度よりそれまでのミニバレーボール大会から、誰でも参加できる競技としてボウリング大会に変更しましたが、参加者や会員生協から好評をいただいています。

2020年度の第31回スポーツ交流会もボウリング大会を継続しましたが、新型コロナウイルス感染症の対策を考慮し、1レーンを2人制、参加人数を縮小することとし、2020年11月21日(土)に大分市明野 OBS ボウルで開催、11会員生協から50名が参加しました。

受付で全員に飲物と参加賞を配布し、河原県連専務理事の開会あいさつ、始球式の後、競技を開始しました。

競技は一人2ゲーム合計点の個人戦で行い、日田市民生協の井下恵さんが初優勝を飾り、2位は3連覇を逃した日田市民生協の菅彩華さん、3位は高校生協の長井剛さん、4位は日田市民生協の井下敏子さん、5位はコープおおいたの朝倉国雄さん、10位以下は5飛び賞、ブービー賞、特別賞（31位）で15人が入賞しました。

表彰式は、新型コロナウイルス感染症対策のため各会員生協の代表者とし、司会の萩原組織委員（県連監事）より入賞者が発表され、賞品は代表者に渡されましたが、例年の歓声がなく少し寂しい表彰式となりました。ただ、参加者からは「コロナ禍の中、楽しく交流させてもらいました、来年も是非開催してほしい」との声をいただきました。



ストライク狙え



マスクのボウリング大会



密を避け表彰式



表彰式入賞者

大分県生協連合会 県生協連と県行政との懇談会



県生協連役員と県行政との懇談会が、2021年1月28日(木)大分市のアートホテル大分で開催されました。

当日は、新型コロナウイルス対策を十分行いながらの開催となり、消費生活・男女共同参画プラザの佐藤誠一郎所長、浜田洋一補佐、首藤英樹主幹の3名が出席し、今回は、県議会で県生協連合会の世話役である玉田輝義県議の出席をいただき、県生協連は青木博範会長理事をはじめ13名の理事・監事・職員が参加しました。

この懇談会は、県生協連が県へ予算要望書を提出し、県の回答書を受けた後、生協と行政との相互理解を深め、連携していくための意見交換の場として毎年開催されています。

【要望事項と回答の概要】

1. SDGsの取組と県民への周知

県が推進する「安心・活力・発展プラン2015」と軌を一であり、令和2年3月に見直し、整理した。県内各地で市町村や関係機関、民間団体等と連携して説明会やフォーラム等を開催しており、引き続きあらゆる機会をとらえ意識啓発・周知を図る。

2. 消費者行政の充実・強化

- ①第4次大分県消費者基本計画を3月に公表予定である。
- ②消費者行政予算の確保に向け努力していく。
- ③消費生活相談員の確保と資質の向上のため、養成講座や研修事業の実施、処遇改善に向けて会計年度任用職員制度の趣旨を踏まえ市町村へ働きかけていく。
- ④ライフステージに応じた消費者教育を推進しており、今後は学校教育においても充実・強化に取り組む。
- ⑤プラスチック使用量の削減、リサイクルの推進、不法投棄の防止に引き続き取り組む。
- ⑥大分県消費者問題ネットワークへは法令周知の普及・啓発、研修事業の委託を継続し連携して取り組む。

3. 食の安全・安心、食品ロス削減の推進

- ①第5次県食品安全行動計画に基づき推進する。
- ②全事業者がHACCPを導入できるよう支援する。
- ③第3期県食育推進計画に基づき取り組みを推進する。
- ④県の食品ロス削減推進計画を策定し取り組む。
- ⑤県内食料自給率向上に向け地産地消等に取り組む。
- ⑥種子法に代わる県の要綱等整備し体制を維持する。

4. 生活協同組合の育成・強化

消費者行政として生協を消費者団体の中核と位置付け、消費者教育推進、消費者被害防止の具体的取組を連携しており、今後も連携を深めていきたい。

5. 大規模災害等の被災者支援と復興・再生及び対策
県防災会議や災害対策ネットワーク会議等を取り組み、県民安全安心メールや防災アプリ等の活用を推進する。

6. 生活困窮者支援の強化

出席者

大分県生活環境部

(敬称略)

所 長	佐藤誠一郎	消費生活・男女共同参画プラザ
補 佐	浜田 洋一	〃
主 幹	首藤 英樹	〃 消費生活班

大分県議会議員

(敬称略)

県 議	玉田 輝義	県生協連合会世話役
-----	-------	-----------

大分県生活協同組合連合会

(敬称略)

会長理事	青木 博範	生協コープおおいた理事長
専務理事	河原 伸明	員外
理 事	後藤 哲也	日田市民生協専務理事
	日隈 健一	グリーンコープおおいた専務理事
	高瀬 宏一	大分県学校生協専務理事
	政丸佐智夫	大分県職員消費生協専務理事
	首藤 俊一	自治労大分信販生協専務理事
	森 徳夫	大分県労働者総合生協常務理事
監 事	橋本 敏雄	大分県勤労者医療生協専務理事
	田辺 修	大分県医療生協専務理事
事 務 局	江藤 隆康	生協コープおおいた専務理事
	萩原 潤	グリーンコープおおいた常務理事
	関谷 綾女	大分県生活協同組合連合会職員

- ①昨年の大分県子ども生活実態調査結果の分析で様々な課題が浮き彫りとなり、詳細はホームページに掲載。
- ②おおいた子ども食堂ネットワーク連絡会を県内13ブロックで設置し、関係機関と連携を推進する。
7. 子育て支援、医療費助成制度の拡充
 - ①子ども医療費助成は、県は所得制限なしで未就学児の入院・通院医療費を助成、上乘せで16市町村が中学生まで通院医療費を助成、うち3市が高校生まで助成、大分市・別府市は昨年10月から住民税非課税世帯対象に通院医療費助成を中学生まで拡大。
 - ②子ども医療費助成は県も各自自治体も実施しているが、全国一律の制度設計を国に対し要望を継続する。
8. 新型コロナウイルス感染症及び被害に対する支援
 - ①全ての医療機関や福祉施設への財政支援等を行うよう政府に対して全国知事会を通じて提言している。
 - ②感染防護服の提供や財政支援に努力していく。
 - ③経済的な困窮者への減免制度等に努力していく。
 - ④PCR検査機器の整備費用を県内14医療機関に助成、11/9現在1日845件まで拡充した。
 - ⑤保健所の機能強化を実施中、引き続き努力していく。
 - ⑥感染者・家族への差別対策や風評被害対策に取り組む。
 - ⑦コロナ関連の消費者被害防止にむけ広報・啓発を実施。

生活協同組合コープおおいた

日田市で炊き出しに参加

10月31日(土)、11月28日(土)

10月31日(土)に中津江村防災復興交流会に参加し、100食分のとりめしと豚汁の炊き出しを行いました。コープふくしま様よりいただいていた、手作りのマスク・ティッシュケース、マスクケースもお届けしました。



11月28日(土)にあまがせ未来プロジェクト、NPO法人リエラなどが主催する、日田市天ヶ瀬地区で開催された「あまがせ交流会」

に参加し、200人分のおでんと飲み物を無料で配布しました。コープおおいたでは、有事の際に速やかに行動できるように災害支援先発隊『CODRA』を発足。今回はそのAチームが活躍しました。とっても寒い中、あつという間に品切れとなり、被災者のみなさんから大変喜ばれました。

おうち de クリスマスパティー

2020年度12月18日(金)、12月22日(火)

参加者：全4日程16組(大人10名・子ども19名)

毎年12月に「親子 de クリスマスパティー」を開催していますが、今年はコロナ禍により大人数で集まることが出来ないため、ご自宅で安全にクリスマスを楽しんでいただこうと、「おうち de クリスマスパティー」を午前と午後に分け、全4日程で開催しました。

プログラムはパネルシアター「わたしのクリスマスケーキ」からスタートです！お子さんたちは、音楽に合わせて次々と出てくる動物たちのケーキを楽しそうに見ていました(^)。続いては「マジックシアター」です。白黒の絵がマジックで…まったく別の素敵な絵に変身！掛け声を唱えるのをお子さんたちも手伝ってくれました♪続いては、「あわてんぼうのサンタクロース」の大合唱！みんなで楽しく振り付けしながら歌いました。歌った後はサンタクロースが登場して大興奮！魔法をかけるとお子さんたちのもとに…なんとクリスマスプレゼントが届きました(^)。オンラインでの開催となりましたが、皆さんの素敵な笑顔が見られて嬉しかったです！来年は集まってクリスマスのお祝いができますように…☆



援農体験会

日 時：1月28日(休)午前の部 10:00～12:00

参加人数：大人7名 子ども2名

援農とは農作業の繁忙期に人手不足を解消するため、消費者が農家へ足を運び、農作業をお手伝いしながら農業を学び楽しむ取り組みのことです。援農がどのようなものかを体験いただき、興味をもつていただくことで、長期的に援農にご協力いただくきっかけづくりになればと思い、コープおおいたの関連会社である農業法人「(株)夢ファームおおいた」で援農体験会を開催しました。

さつまいもの仕分け、トリミング、袋詰め作業を行い、サイズごとに600gを200袋、コープ南大分に出荷しました。ご参加いただいた方から、「ただ測って袋に入れるだけじゃないんだとわかりました。毎日の作業の大変さがわかりました。」という感想もいただきました。

継続的な援農につなげるためにLINEアカウントも取得し援農の情報発信や援農受付を行っていく予定です。



日田市民生活協同組合

主な活動紹介



無料送迎“朝日ヶ丘地区”スタート

買い物困難者に対して昨年8月に開始したCOOP店舗への組合員無料送迎サービスですが、その後各自治会からの要請もあり昨年12月、新治店近隣の朝日ヶ丘地区のサービスがスタートいたしました。現在約80名の登録者に対して、週5日・毎日5便の運行を行っています。



たすけあい共済

2003年7月より取り扱いを開始いたしました「たすけあい共済」の保有件数も2020年5,100件を突破いたしました。

特に今年度は、毎月加入予定目標を達成しており、「たすけあい共済」のよさが多くの組合員の皆様に広がっていることを実感いたしております。事業開始当初目標としていた組合員加入率30%も目前となりました。



環境保全マイバッグ持参運動

1991年より取り組みを開始した『マイバッグ運動』ですが、多くの組合員の皆様のご理解とご協力により、昨年2020年は年間を通じ87.9%を達成いたしました。

グリーンコープ生活協同組合おおいた

“石けんアドバイザー”に聞く せっけんの基本から活用術

11/24日(火)シャボン玉本舗の前田さんを講師にオンライン学習会を開催しました。せっけんとは何かの基礎から特徴、豆知識、香りの害について実験をはさみながらお話いただきました。

せっけんの製造方法はいくつかあるそうですが、シャボン玉石けんは昔ながらの釜炊き製法「ケン化法」で作られていて、せっけんの出来上がりを熟練の職人さんが舐めて確認するそうです。また、蛍光増白剤入りの洗剤で洗った布にブラックライトをあてる実験は、おお〜！と驚きの声があがりました。自然派や無添加の記載のある商品を信用して使用しがちですが実は合成洗剤だというものも多く、裏面表示を見て判断できる知識が必要だと実感しました。安心して使えるせっけん商品を買える、使い方も教えてもらえる環境は素敵だと思います。環境への配慮もちろん、家族のためにも少しずつせっけん生活が出来たらという思いを新たにできる学習会でした。

よくわかる原発事故！翌年に迫る福島10年、チェルノブイリ35年、 国の政策からみる被災地の現状

11月27日(金)、獨協医科大学准教授で、NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワークのベラルーシ医療検診団で甲状腺患者の調査に取り組んでいる木村真三さんを講師に、オンラインで開催しました。

講師の木村さんは、原発事故の翌日から福島に入って活動されており、現在は二本松市からの要請で、小中学生対象の原発についての副読本を教師たちと共に作成、ボランティアで年に70～90回定期的に学校で教えています。

学年別で内容を変え、低学年では「遊ぶ場所で気をつけるところ」「外部被ばく」、高学年になると「食べものからの内部被ばく」「差別されたら」「また事故が起きたら」と丁寧に教えている様子でした。

放射性物質は、時間とともに減少する「半減期」というものがありますが、小学校のモニタリングポストの去年と今年で変わらないと言った女の子の発言から、生物的半減期という、山の木は、根から栄養のカリウムに似ているセシウムを吸い上げ、葉まで伝わり、枯れて落ち土に戻ってしまい、数値が変わらない現象になっているようでした。そして原発から24キロ離れている飯館村では、未除染なのに異例の避難解除となっていると聞きました。農地を拡大のために土を削って盛り、野菜を育てる実験の報道もありましたが、放射性物質は取り込みやすい・取り込みにくい野菜があるので、そこを言及していないなら疑う必要もあるようです。

チェルノブイリでも小児の甲状腺がんの多発を4年目に現地の医師は確認されているのに国際社会は10年経ってやっと認められたそうです。「情報を鵜呑みにしないこと」を気づいてほしいとお話しされていました。

大分県学校生活協同組合

ライフプランセミナーを開催しました！

昨年大変好評でした「退職を見通したライフプランセミナー」を12月12日(土)に県教育会館で今年も開催をいたしました。今年は新型コロナウイルス感染防止を鑑み、従来より内容を縮小し、感染対策を施した中で実施をし、当日は84名の参加がありました。初めに高校生協の三重野専務理事、また主催者代表として教職員共済大分県事業所の横道所長の挨拶で開会し、セミナーでは「一気になる！退職後の社会保険と税一」と題して、講師の教職員共済エリア担当アドバイザーの岡本和子さんより、公的年金制度や退職手当制度、死亡保障・医療保障、退職後に向けて今から準備すべきこと等の内容で、大分県の教職員の状況を踏まえた具体例の資料をもとに非常にわかりやすい講義が行われ、メモを取りながら熱心に聞き入る組合員さんの姿が多く見られました。

続いて指定店・日本トリムさんが健康促進の一助として商品の案内を行った後、学校生協の高瀬専務理事より閉会のあいさつがあり盛会のうちに終了しました。12月末の教職員共済の個別相談会にも多数申込があり、組合員さんの退職後のライフプランへの関心の高さが伺えました。



講師の岡本和子さん



熱心に耳を傾ける参加者の皆さん



（株）日本トリムによる商品説明

第31回 大分県生協連合会主催 スポーツ交流会 ボウリング大会

11月21日(土)大分県生協連合会主催のボウリング大会がOBSボウルにて開催されました。大分県内の様々な生協との交流を深める事を目的に毎年開催しており、今年は31回目の開催で、大分県内の生協から47名が参加しました。

今年度は、コロナ禍での開催という事で参加人数を前年の半数にして、1レーン2名で密を避けての開催でした。ストライクを出すと、みんなガッツポーズや肘タッチ・拍手などで静かに盛り上がりました。大会の結果は、学校生協参加者から飛び賞に2名入賞しました。来年も開催予定です。また盛大に開催できればいいな。



開会式みんな静かに闘志を燃やしています!!



スベア狙いで全集中!!

大分大学生生活協同組合

新型コロナウイルスによる影響

新型コロナウイルス（COVID-19）感染が長期化したことにより、大学講義も前期に引き続きオンライン講義中心になるなど影響を受けています。学生も大学に通学できない、友人と食事に行けない、買い物するために街中に出かけるのも不安など、これまでとは違った環境での生活を過ごしています。

また、推薦入試や大学入学共通テストでは感染症対策のため試験当日には学内に控室を設けないなどの処置がなされており、受験生を対象とした広報活動に影響を与えています。

学生の生活に合わせたアイテムの提供

外出も難しい、という現状を受け大分大学生協のショップではお弁当や手作りパンなどに加え、自炊コーナーの設置や冷凍食品の強化を行いました。自炊コーナーでは簡単に料理のできるパスタの人気があり、冷凍食品は週末に多くの方が購入されるなど、学生の生活に合わせた取り組みを行っています。



↑ 自炊コーナー

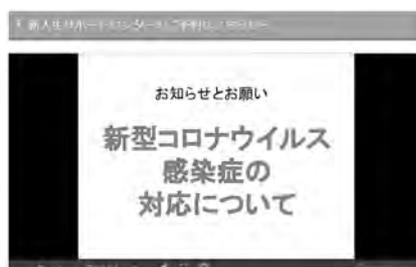


↑ 冷凍食品コーナー

オンラインを活用した新学期活動

大分大学は毎年約1,000人の新生が入学しています。大分大学生協では例年新学期サポートセンターを食堂に開設し、新生の入学準備をお手伝いしていましたが、今年は感染症対策のためWebサイトも活用した取り組みを行っています。

説明会のオンデマンド配信やライブ配信での実施、個別対応もこれまでの対面に加え電話やオンラインを取り入れ行っています。



↑ オンデマンド配信による説明会の配信



↑ 住まいスタッフによるオンラインでのお部屋紹介の様子

大分県職員消費生活協同組合

ガソリンカード利用キャンペーン(11月1日～12月31日)

ハイブリッド車の普及や燃費向上により組合員のガソリン消費量は減少を続けています。組合員の中には長距離通勤者もあり車使用が不可欠の方もいます。ガソリン価格については月3回指定店と交渉して組合員価格設定しています。

今回、生協利用の特典としてガソリンカード利用キャンペーン(11月1日～12月31日の間に3万円以上の利用)を実施しました。結果は、現職24人、退職者9人が該当し、「500円QUOカード」と「おんせん県エコバッグ」を進呈しました。退職してもガソリンカードの利用をいただき2020年12月利用では現職を上回る退職者組合員利用がありました。

「GoToEatおおいた味力食うぽん券」の販売(1月19日～3月31日)

新型コロナウイルス感染症の影響で商店街は人が減り、飲食店は客足が大幅に減り、厳しい状況が続いています。1月に入り11都府県に緊急事態宣言が発出され、飲食店への営業時間短縮や外出自粛が要請されました。大分は最も影響を受けている飲食店の継続的支援として官民一体型で需要喚起を図る「GoToEat キャンペーン」事業を九州で唯一、GoToEat 食事券(県内発行額60億円)の販売停止や利用抑制を行うことなく、利用を継続できる県となっています。

こうしたなか県からの要請で販売期間が当初の1月末から2月末まで延長されることもあり「おおいた味力食うぽん券」1冊1万円(1万2千5百円分)を県内生協で唯一取り扱いました。2月16日に販売期間が3月31日まで再延長されました。使用期間は当初の3月末から6月末に延長されています。

飲食店利用にあたっては、「マスク会食」「斜め向かいに座る」「テーブル間移動しない」「少人数・短時間で」など工夫を凝らして感染防止対策して楽しみましょう。

生協販売期間：2021年1月19日～3月31日

参加登録店：県内2,996店舗(2月16日時点)

購入方法

1セット12,500円分(500円券×25枚)の食事券を10,000円でご購入いただけます。お一人様1回につき2セットまで購入可能です。

指定の販売施設にて購入可能です。事前予約等は必要ありません。



利用方法

登録飲食店でお支払い時にご利用いただけます。登録飲食店は、下記のステッカーが目印です。



大分県労働者総合生活協同組合

住宅事業について

【分譲部門】

下記3分譲地にて建築条件付宅地好評販売中です。
詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

- ◇別府市「新別府」
- ◇大分市荏隈
- ◇大分市津守



(「新別府」分譲地)

【リフォーム部門】

戸建住宅の外壁や屋根の葺き替え、キッチンやお風呂など、様々なリフォームを扱っています。
お客様のご希望に合ったプランのご提案をさせていただきます。

【問合せ先】大分県総合生協住宅課 0120-557-887

旅行センターについて

旅行センターは「旅行業における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に沿った旅行手配をおこなうことで、組合員の皆様へ安全、安心な旅行サービスの提供に努めております。ご旅行や組合行事などをご検討の際は、お気軽にご相談下さい。

【新規団体旅行紹介キャンペーン】

対象団体：旅行センターに新規でお申し込みの団体旅行

※過去にお取り扱いのない団体旅行となります。

対象期間：2021年3月1日～2021年5月31日までに出発の団体

対象条件：15名様以上で1泊以上の国内・海外団体旅行

(貸切バス・航空機・JRなど交通機関のついた団体旅行)

プレゼント：15名様以上のご紹介の場合

紹介者様、旅行幹事様それぞれに5,000円のギフト券をプレゼント

※15名様ごとにそれぞれ5,000円のギフト券を追加で進呈します。

(例) 35名様の場合 紹介者様、旅行幹事様へ各10,000円のギフト券

総合生協中央パーキングについて

【時間貸し料金】

- ・昼間(8時～18時) 40分100円 屋間最大800円
- ・夜間(18時～8時) 60分100円 夜間最大500円

【お得なプリペイドカード】

- ・10,000円券を7,400円で販売
- ・5,000円券を4,300円で販売

*おさるのマーク、「大分市中心市街地共通駐車券」の加盟駐車場です。
ソレイユや大分市中心部商店街にご用の際は是非ご利用下さい。



大分県勤労者医療生活協同組合

ドクター則行の外来通信より

大分協和病院では則行副院長が月に1回、「外来通信」を発行しています。身近な健康に関する話題や病気に関する話題の他、患者様からの質問にお応えしたりもしています。

その中から、今回は2020年12月号を抜粋して紹介します。



☆「リラックスできていますか？」

日常の不安や不満からくるイライラ、ストレスから心の健康を損ね、体調を崩し、なんとなく不安定な毎日を送っていらっしゃる方も多いのではないかと思います。そのような時にもっとも大切なこと、それは落ち着くこと、すなわちリラックスすることです。

自分の意志に関係なく働く神経を自律神経と呼んでいます。自律神経には身体に活力を与える交感神経と、身体の活力を温存する副交感神経とがあり、両者がバランスを取りながらわたしたちの身体を支えています。イライラや興奮は交感神経の働きを高めますので、緊張や興奮しっぱなしの方は四六時中、交感神経が元気ということになります。その結果何がおこるでしょうか。自律神経的には「戦闘モード」、すなわち、いつでもかかって来い！の状態ですので、おのずと身体は疲れやすくなり、睡眠が浅くなってちょっとした物音でも目が覚め、それでまたいっそう疲れやすくなる、といった悪循環におちいってしまいます。その状況がひどくなれば、うつ気分になるかもしれません。

ですから、わたしたちは一日の中で何回かは副交感神経を活性化しなければならないということになります。そのためにリラックスが必要なのです。

リラックスするやり方は人それぞれだと思いますが、いろいろな本を読みますと、おおよそ次のような習慣を持つことが大事なようです。

- ① 一日数分でも静かな環境に身を置くこと。音を消し（あるいは音量を下げ）、あまり明るい光を浴びず、ソファやイスに楽な姿勢で身を任せる。
- ② 深呼吸する。とにかく長い時間をかけてゆっくり息を吐くこと。（口をすぼめて息を吐くのがコツ。）これも毎日数分間だけ行えばよいそうです。
- ③ ゆっくり食事をする。意図的に一口量を減らしてよく噛んで食べる。それを習慣化しますと、副交感神経が活性化しやすくなるのだそうです。
- ④ 意識的に頭を空っぽにする。これは少々修業が必要になりそうですが、要は「ボーっとする時間を作ること」らしいです。実は意外なことに、ボーっとしている時間が脳の活性化にはとても必要らしく、その時に脳の中ではさまざまな機能の調整が行われるとか。わたしは毎朝、温かいコーヒーをゆっくり飲みながらボーっとしていますが、確かに精神衛生によい効果がありそうです。

このギスギスした世情だからこそ、自分に「リラックスできてるかい？」と問うことは大切ではないでしょうか。

大分県医療生活協同組合

生協強化月間
(2020年9月25日～11月30日) の取り組み

2020年度の生協強化月間では269名の仲間が増えました。コロナ禍ということもあり例年通りの取り組みができませんでしたが、そんな中でもできることを模索し、新たな組合員活動も始まりました。

オンライン班会

感染対策をしながら組合員と職員の繋がりを作るため、“オンライン班会”を導入、班会や月間のスタート集会で実施しました。

現場で多忙な専門職員も、移動の時間がカットでき職場から班会に参加できることで班会がより身近なものになりました。

また、双方向のやり取りができることで組合員からも積極的に質問が出され、有意義な時間となっています。地域のサロンなどでもご要望があればお伺いします。



看護師によるコロナ予防の学習会

医療生協なんでも相談会

組合員と職員の協力の力で地域の困り事に耳を傾け、新たな繋がりを作る取り組みとして、各支部主催の「なんでも相談会」を開催しました。

6支部が計10回の相談会を行い、様々な相談が9件寄せられました。まだまだ相談件数は少ないですが、継続することで“頼れる医療生協”として存在意義を示していきます。



医療現場のために～手作り防護服作り～

昨年の夏ごろから医療現場で不足している防護服を組合員が手作りしています。約半年間、現場の声を取り入れながら改良を重ね、延べ380名の組合員が4400枚を超える防護服を作っています。

こんな時だからこそ、組合員の力を再認識し、職員一同感謝の想いを新たにしています。



大分県福祉生活協同組合

新型コロナウイルス感染予防対策

新型コロナウイルスの全国的な蔓延により、大分県内でも新型コロナウイルスの新規感染者が徐々に増え続けている状況にあります。私どもの福祉施設では、コロナ禍における感染予防対策の環境づくりとして、『空気循環式紫外線清浄機やアクリルパーテーションなど』を施設内に設置いたしました。

また、日々の感染予防対策としては、利用者にマスクの提供や、送迎車や使用した器具の清掃、消毒を徹底して行っています。施設利用時には、常に換気を行うなどし、密閉とならない環境づくりを心掛けています。



2020年度 新型コロナウイルス蔓延による生協活動への影響

例年、「ニコニコ生活村祭り」や「健康教室」、地域住民が開く「くつろぎの広場」など、ふくし生協の地域活動は活気があふれていますが、2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、活動の中止または規模を縮小しての活動となりました。

また活動再開にあたっては、密閉、密接、密集を避け、マスクの着用やアルコールでの手指消毒を徹底していただくなど、感染予防対策には細心の注意を払い執り行いました。



2020年度第4回理事会議事録

1. 日時 2020年11月27日(金) 13時00分～14時25分
2. 会場 大分市中央町 ソレイユ3F「百合」
3. 出席者 理事総数13名中全員出席、監事総数2名中全員出席

議 題

4. 議 事

<報告事項>

(1)県連活動の報告

- 9月27日 県労福協2020年度福祉研修会
9月30日 日生協九州地連第2回運営委員会・活動推進会議(リモート)
10月2日 県消費者団体連絡協議会第2回会議
10月5日 県生協連第2回組織委員会
10月6日 2021年度大分県予算及び行政執行に関する要望書提出
10月7日 県消費者問題ネットワーク第3回理事会
10月16日 県協同組合協議会地域貢献活動(神崎海水浴場清掃活動)
10月22日 第26回大分県生協大会
10月22日 県労福協第4回理事会
11月18日 日生協九州地連大規模災害対策連絡会(リモート)

11月21日 県生協連第31回スポーツ交流会(ボウリング大会)

<審議事項>

- (1)7月豪雨災害支援募金の県への贈呈について
(2)大分県行政との懇談会について
(3)地域消費者フォーラムin佐伯への参加について

<協議事項>

- (1)大分県「ながら見守り活動」の具体的な取り組みについて
(2)2020年度役員研修会・トップ交流会の延期開催について
(3)第30回県議会議員との懇談会の延期開催について

<その他>

- (1)2020年度損益計算書(2020年4月～10月)
(1)当面の取り組み日程

2020年度第5回理事会議事録

1. 日時 2021年1月28日(木) 14時00分～15時05分
2. 会場 大分市都町 アートホテル大分2F会議室
3. 出席者 理事総数13名中12名出席、監事総数2名中全員出席

議 題

4. 議 事

<報告事項>

(1)県連活動の経過

- 12月1日 県労福協情報紙156号編集会議(河原)
12月2日 日生協九州地連第3回運営委員会・活動推進会議(リモート)
12月17日 大分県消費者問題ネットワーク第4回理事会
12月22日 7月豪雨災害支援義援金の県への贈呈式

<審議事項>

- (1)県生協連2020年度決算見込みと下期会費について

<その他>

- (1)2020年度損益計算書(2020年4月～12月)
(1)当面の取り組み日程